

平成19年度建設計画実施計画に関する要望への対応状況

主要区分	平成19年度に実施（計画・変更）要望する事業		要望の趣旨等	地区別優先順位	担当課	地域審議会からの要望に対する各部局の対応方針の概要
	実施事業	実施事業内容				
1	塩江病院新築用地の検討・取得 塩江病院新築工事基本設計業務	現在の医療サービスを継続させながら機能充実を図るため、塩江病院の移転新築用地の検討・取得を行う。 塩江病院基本設計業務。	現在の塩江病院は老朽化が進むとともに、耐震補強もされていないことから耐震化も喫緊の課題となっている。また、民間医療機関での診療が困難な、山間過疎の塩江町域における唯一の診療機関である塩江病院の医療サービスの提供は止めることはできない。 このようなことを考慮すると、現施設の大規模改修を行うより移転新築を行うことが、工事期間中の収入と新たな医療需要の確保、サービスの提供もできるので望ましいと思われる。 塩江病院は、高齢者を始めとする地域住民が、安心して暮らせる心よりどころになっている中核施設であるので、新築工事による早期の機能充実を要望するものである。	1	経営管理課 塩江病院	塩江病院については、要望にもあるとおり、塩江地域における唯一の診療機関であり、地域医療の確保の観点から存続させることが必要と考えている。 高松市は、合併に伴い、3病院体制となったが、国の医療費抑制策などにより、病院の経営環境が大変厳しくなっていることから、本市の財政状況や病院施設の老朽度など、総合的に勘案し、施設整備を図っていく必要がある。特に、国の医療制度改革により、介護療養型病床の平成23年度末の廃止や療養病床の削減などの方針が出されており、これらの動向を十分見極める中で、検討していく必要がある。 3病院のあり方について、有識者等で構成する「高松市民病院あり方検討懇談会」および市議会の「市立病院のあり方に関する特別委員会」において、種々検討しているところである。 今後これらの結果を踏まえ、塩江病院の整備方針を検討していきたい。

(塩江地区)

平成19年度における各部局の対応状況

病院施設の耐震診断を実施するとともに、医療機器等については、経営状況を勘案する中で、必要なものから整備していく。
3病院のあり方については、平成18年11月に「高松市民病院あり方検討懇談会」から、「高松市民病院は、香川病院との統合を前提として、今後求められる役割・機能を果たすために病院移転を図り、塩江病院は新病院との連携のもとに附属施設として存続させるべきである。」との提言を踏まえ、今後、塩江病院の整備方針を検討していきたい。